

地域企業・産業資料デジタルアーカイブについて

- (1) このデジタルアーカイブは、東京大学経済学図書館が所蔵する地域企業・産業資料のうち、印刷物および近代の文書類について順次デジタル化をすすめているものです。
- (2) このデジタルアーカイブの利用に際しては「[東京大学経済学図書館電子資料利用規則](#)」に同意したものとみなされます。
- (3) 印刷物など他媒体への使用については、東京大学経済学図書館までお問合せください。
- (4) 画像は白黒です。画像の撮影には文字が視認できるよう十分な注意を払っていますが、資料の欠損、変色、褪色等の劣化や、ノド部分の状態によっては、原本の文字が全て写っていないものがあります。これらについては資料の原形を保ちつつ、出来る限りの範囲で撮影したものとして了解下さい。写りの悪い資料については、東京大学経済学部資料室にて、所定の手続きにより原本の閲覧をお願いします。
- (5) 本アーカイブに関する質問等については、東京大学経済学部資料室までお問い合わせ下さい。
- (6) 本デジタルアーカイブの一部は、独立行政法人日本学術振興会平成 27 年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）課題番号 15HP8021 の交付を受けて作成しています。

陸軍註文鋼材打合會

昭和十六年六月三日
於日銀本店會議室

出席者

兵器本部	岡村大佐	外十名
東京第一造兵廠	久松少佐	
八幡出張所	松井監督	官外一名
鐵鋼統制會	伊藤課長	
日本鋼材販賣株式會社	西郡部長	
日本製鐵 本店	渡邊常務	外廿四名
八幡製鐵所	松原部長	外三名

第三七號

午前十時半ヨリ開催、永野少佐ノ挨拶アリタル後阿都販賣部長ヨリ當社ノ生産概況説明アリ、更ニ松原製鋼部長ヨリ工場別品種別ニ陸軍註文品ノ製作豫定ヲ説明、蠶食ノ後細部ニ亘ル檢討ヲ行ヒ午後四時野村

大佐ノ閉會ノ挨拶アリテ散會ス
主ナル事項次ノ如シ

一 昭和十四、五年度繰越殘高並ニ十六年度註文高ニ對スル製造計畫
總量ニ付キ概括的ニ見レバ

十四、五年度繰越量	約一〇〇〇〇〇噸
十六年度註文見込量	約二五三〇〇〇噸
計	約三五三〇〇〇噸

ニ對スル本年度製造豫定量ハ四月ノ假想當量ヨリ見レバ年間一八四〇〇〇噸位ナレバ十五年度ノ陸軍ヘノ製作配分率一九二%ヲ獲得スレバ三五三〇〇〇噸トナリ充分賄ヒ得ル見込ナルモ品種別ニ檢討スレバ

(1) 大形棒鋼

十四、五年度繰越	五八四〇噸
十六年度註文	一四五三八噸
計	二〇三七八噸

十六年度生産額定 一四九五〇
十七年度繰越 六三二六
右繰越高ニ付テハ説意増産ニ努メ十七年度ヘノ繰越ハ出来
得ル限リ三〇〇〇地以下ニ止ムル見込ナリ

(ロ) 小形棒鋸

十四、五年繰越 一七〇五六
十六年度註文 二一三九〇

計

十六年度生産見込 二五四四五
十七年度繰越 一六五六

右ハ十六年度ノ發註見込量ナ二二三九〇地(八番割)トセ
ルモ兵本調ハ一三、四六六地外ニ建築材ガ發註済ノモノ四〇
〇〇地未發註ノモノ七〇〇〇地(其後一、〇〇〇地ニ變更)
アル事判明セリ、依ツテ未發註ノモノハ可成社外又ハ他社
ヲ利用スルトスレバ十六年度ノ八幡製作分ノ發註量ハ四〇

〇〇地減額シ又出来ル丈ケ増産ニ努メ主トシテ十六年下期
ニ増産シ、上期ニ於テハ増産ノ見込少シ(決定量ヨリモハ
〇〇〇地多ク製作シ得ル見込ニ付結局十七年度ヘノ繰越ハ
四〇〇〇地以下トナル見込)

(註) 其後兵本會計部ノ調ニ依レバ十六年度註文ハ發註済一
七、四六九地未發註ノ建築材其他一三、三九三地ノ内社外ニ
テ製作可能ノモノヲ除ケバ八幡ニテ製作ヲ要スルモノ三
〇〇〇地内外ニ付結局十六年度發註見込量ハ二〇、五〇〇
地、社外トナル見込ニ付十七年度ヘノ繰越量ハ六、五〇〇
地、社外トナルベシ)

(ハ) 片

十七年度繰越 一三、七六六
ハ生産額當増加スレバ製作可能ナリ

(ニ) 大形丸鋸

更ニ八〇〇〇地増産シ繰越ヲ害無トスル様努力ス、但シ大

二、軌條ノ件

形規格ト合セテ生産調整ノ増加ヲ行ハサレバ實行困難ナリ
軌條十六年度所要量ハ四〇〇〇〇ト内示セルモ一三〇〇〇地
程度ニ減少ノ見込ナリ。

十五年度殘高ト合セテ十二月末迄ニ製作スル必要量アリ

三、至履鋼ノ件

至履鋼ノ名稱ヲ「第六種特」ニ改正ス

四、無規格ノ件

無規格（陸軍地金規格ノ指定スル鋼質ニシテ監督官ノ検査ヲ要
セザルモノ）ノ名稱ハ安富ナラザレバ「検査品」ニ改正ス

五、其 他

(イ)十六年度ハ軌條ノ受渡場所八幡橋内渡チ門司（小森江直場河岸）
経乗渡トシテ發註シ度キ旨申出アリタルニ對シ差支無キ旨回答
ス

(ロ)十六年度價格ヲ出來ル文ケ速カニ決定スル必要量アリタリ

(ハ)標準寸法表ヲ配布シ標準寸法以外ハ出來ル限り發註セザル必要
量シ直キタリ